



PnPゲーム 『216』

Design by 遊佐 蛟



© 2020 ボードゲームニュースまとめ

ルール

6×6のマス目に対し、交互にダイスを振り出た目を任意の場所に記入し、列と行の支配を争う

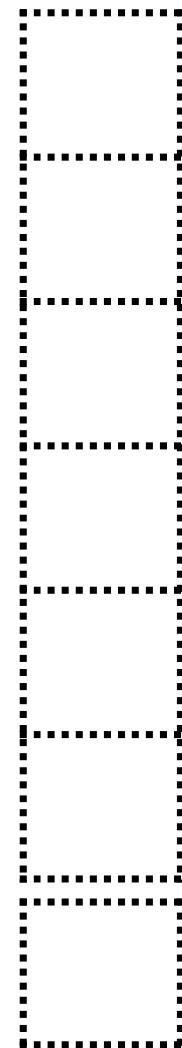
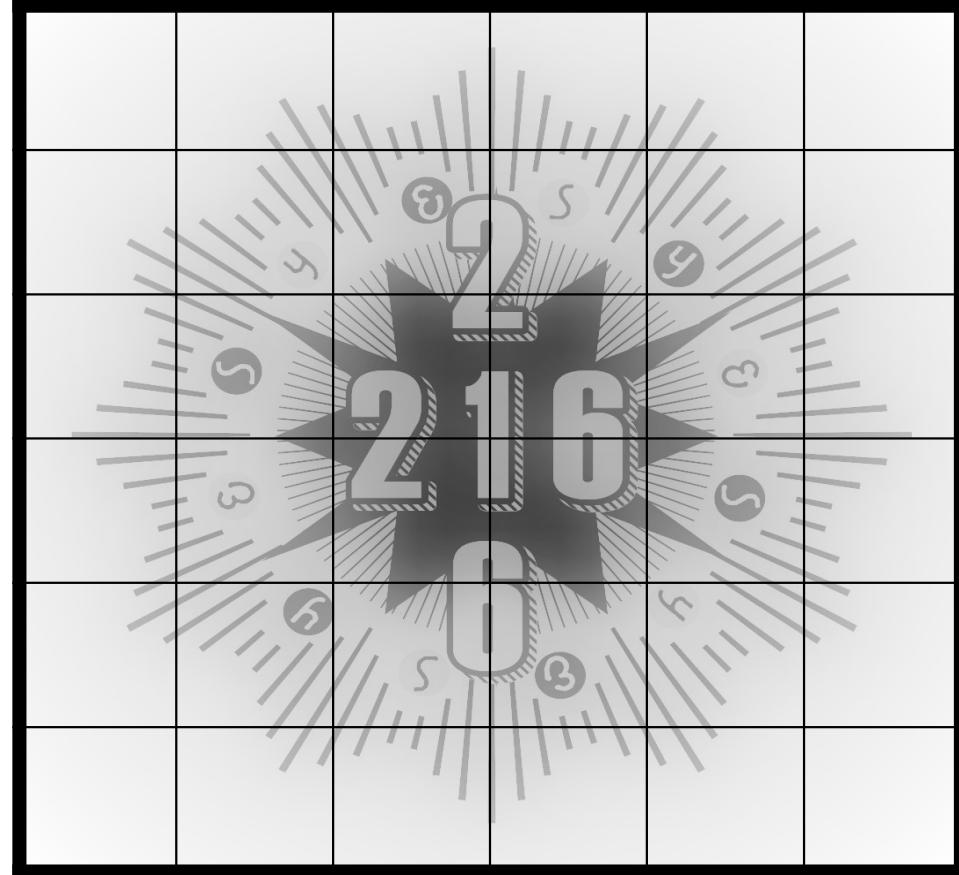
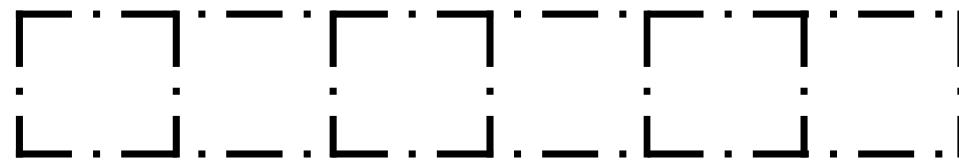
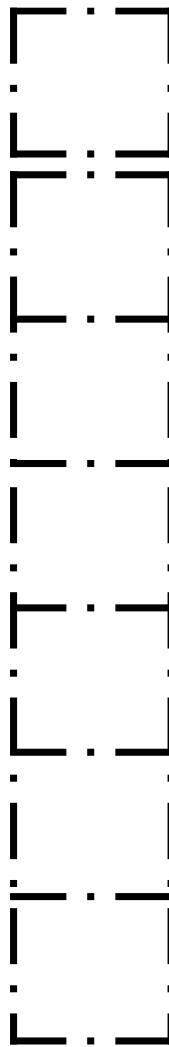
◆ベーシック情報

- ・人数 2人、年齢 6歳以上、時間 10～15分

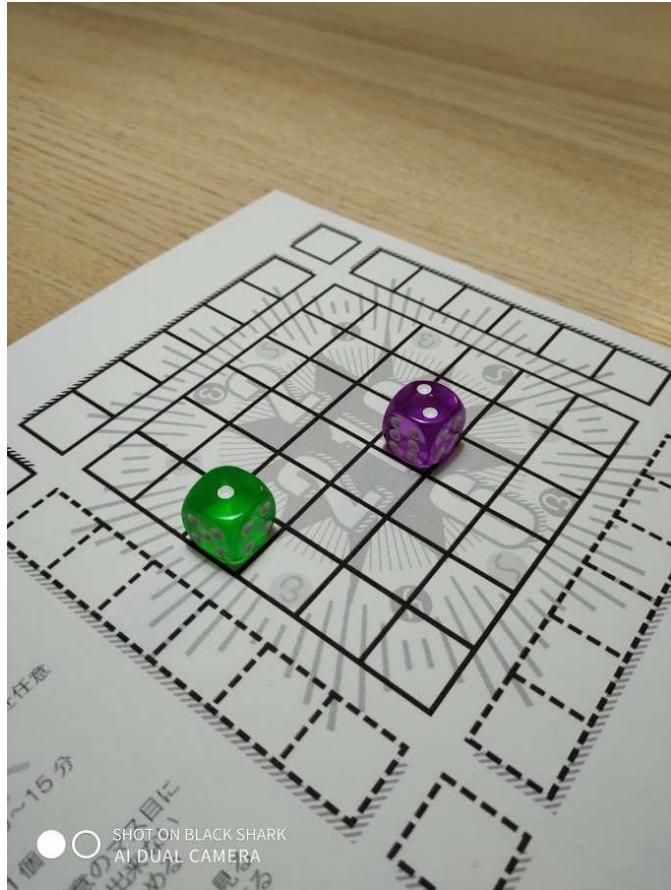
◆準備するもの

- ・筆記具（色違いのボールペン推奨）、サイコロ1個（6面）、電卓（計算力強化なら不要）
※ダイスを大量に持っている場合には、ダイスを置いていく形をお勧めします。

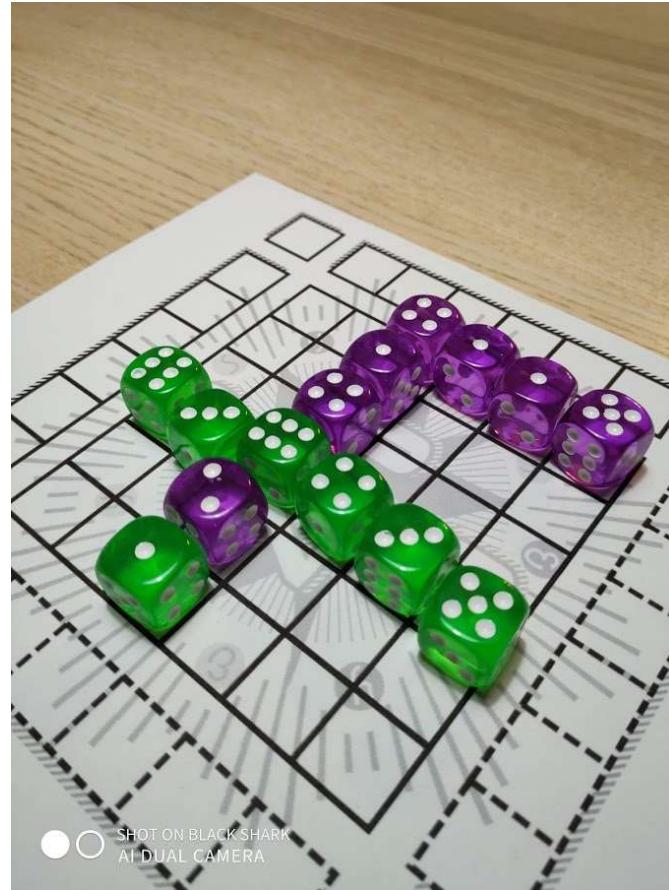
1. 最近、ダイスを振った人が任意の方法で手番を決める
2. プレイヤーはダイスを振り、出た目を任意のマス目に記入する
既に数字があるマス目には記入出来ない
3. 全マス目が埋まったら、列及び行の支配を決める
 - ◆支配とは？
 - ・列及び行に書いてあるマス目の数が多いほうが、その列および行を支配。
 - ・同数であれば、引き分け
4. 支配が決定したら、自分が支配している列および行の合計値を右及び下の四角に記入する
 - ・列及び行を全て自陣営で埋められた場合、ボーナスとして10点加算する
5. 列の合計値及び行の合計値を足し合わせ、合算値の多いほうが勝利



ゲームイメージ (画像はダイスを置いていった場合です)



初手の場面。任意の場所に書いていきます。



ダイスの出た目を順に書いていきます。

ゲームイメージ (画像はダイスを置いていった場合です)



すべてのマスが埋まりました。

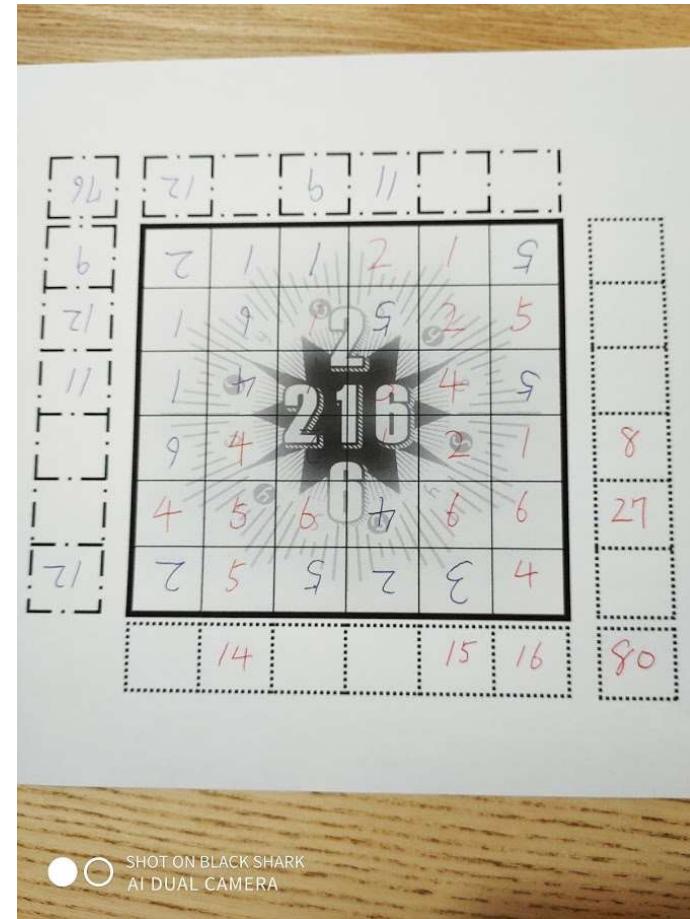


行毎、列毎に支配を確定していきます。
支配が決まった側に○を付けると分かりやすい。

ゲームイメージ (画像はダイスを置いていった場合です)



結果 76vs80で紫の勝ち。

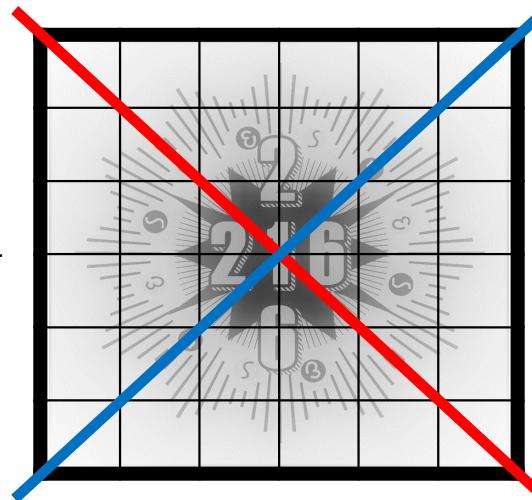


紙に記入したPlayは、このようなイメージとなります。

ヴァリアント

□斜め

- ✓ 支配の計算に斜めも含める。
- ✓ 6マスの部分のみを計算する。
- ✓ 後手はゲームスタート時にダイスを1つ振り、その数字を記録する。最終計算時にハンデとして合計値に合算する。



□ 4×4 、 8×8

- ✓ 4面ダイスや8面ダイスを用意し、マス目を増減させて難易度をコントロールする。

□面積支配

- ✓ 自陣宮が縦横でつながっている最大マス目数を計算し、多いほうに1マス1点加算する。

□3人プレイ、4人プレイ

- ✓ マス目を 12×12 に拡大し、参加人数を3か4に増加させる

デザイナーズノート

このゲームは、友人と『ダイスゲーム百科』に掲載されている『ハウス・ナンバー』をランチタイムに遊んでいた際に、思いついたゲームです。

その場で、レストランのナプキンに 6×6 のマス目を書いて試しに遊んでみるとなかなか面白く、何とか形に出来ないかと思考錯誤したのを覚えています。

結局、イマイチ盛り上がりに欠けるというか、淡々と進んでしまうところが私の周囲の重ゲープレイヤーにはウケが悪く、お蔵入りにしていました。

この度、「ボードゲームニュースまとめ」のフォロワーが3,000人を超えた事を記念して公開する事にしましたが、どちらかというと、このコロナウィルスによる緊急事態宣言の中で自分なりに何か貢献出来る事はないか?と思い、家の中で紙とペンがあれば遊べるゲームで暇つぶしをしてもらえればと思い、公開した次第です。

お子様とやる場合には、電卓は使わず暗算や筆算で行うと丁度良い訓練になると思います。私も子供とやる時は暗算でやるようにしています。

小学生の頃から、ボードゲームに親しんで来た自分にとっては、勝敗にこだわるというよりは、同じ時間を共有し良き体験をする、という意味でボードゲームが存在します。

閉そく感のある状況ではありますが、このゲームを通じてプレイヤー皆様の良き体験となれば幸いです。

Written by 遊佐 蛟

【参考文献】

ライナー・クイニツィア著、正田 謙訳『ダイスゲーム百科』スマート出版、2015年、p.195
Special Thanks to 馬笑、JIN115、ケイン、kowmee、Ritsuya and My Family